

会 議 録

会議の名称		令和7年度（2025年度）第1回つくば市学校防災推進委員会		
開催日時		令和7年（2025年）6月25日（水曜日） 開会 15:30 閉会 17:00		
開催場所		庁舎2階 防災会議室（2）（3）		
事務局（担当課）		教育総務課、学び推進課		
出席者	委員	森田充会長、久保田靖彦副会長、尾見裕史副会長、山田仁巳委員、岡田太郎委員、植木純子委員、宮田征門委員、岸田和克子委員、岡田健一委員、小林将明委員、大久保正巳委員、柳町優子委員、勝村英樹委員、森田信道委員、岡野知樹委員、山岡めぐみ委員、中島澄枝委員、澤頭由紀子委員、石橋充委員		
	その他	国土技術政策総合研究所主任研究官 長屋和宏		
	事務局	教育総務課：課長補佐 飯村賞賜 係長 鈴木淳 主任 谷沢潤一郎、小川真由 会計年度任用職員 山口ことみ 学び推進課：指導主事 宮本聡 危機管理課：係長 鈴木誉幸		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴席	2名
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 学校防災推進委員会の概要、事業計画について 【資料1・2】 (2) 各学園、学校の学校防災事業実施計画について 【資料3・4】 (3) 危機管理課からの連絡事項		
会議録署名人			確定年月日	令和 年 月 日

会議次第	1 開会
	2 挨拶
	3 議事
	(1)学校防災推進委員会の概要、事業計画について【資料１・２】
	(2)各学園、学校の学校防災事業実施計画について【資料３・４】
	(3)危機管理課からの連絡事項
	4 その他
	5 閉会

1 開会
事務局：定刻となりました。本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。司会の教育総務課、飯村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 本日の会議は、つくば市附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例に基づきまして、公開とさせていただきます。なお会議録を作成し、後日公表しますので、ご発言の際には、マイクの使用にご協力をお願いいたします。 それではただいまから令和７年度第１回つくば市学校防災推進委員会を開会いたします。開会に当たりまして、初めに会長である教育長より挨拶申し上げます。
2 挨拶
会長：皆さん改めまして本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。 本委員会は災害に対する備え、学校における防災体制の充実を図ることを目的として開催しています。昨年、元日に発生した能登半島地震からはもう１年半も経ちますが、まだまだ子供たちには心のケアなどにも必要な状況というところで、災害が起こると、なかなか収まるというところにたどり着かないということをつくづく感じています。また都内の小学校では、突然保護者の関係者が学校に乱入して怪我をさせるといった事件もありました。自然災害だけでなく人的な災害も含めて、いろいろな災害が学校で起こる可能性があります。 防災体制を整えるというところでは、最近はコミュニティ・スクールの整備が進んでおり、その役割も大きくなっていると感じます。

3月に実施した学校防災推進委員会の中で、委員の皆様から様々な御意見をいただきました。また、今年はショート避難訓練の手引きを策定して4月1日付に各学校に周知しました。徐々にこの委員会での話し合いが、学校にも浸透して実効性の高い取組につながればと思っております。本日も皆さんから御意見を頂戴しながら、今年度の防災体制を整え、さらに進展させていきたいと思っておりますので、忌憚のない御意見を頂戴したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局：ありがとうございました。続きまして次第の3、議事に移ります。ここからの進行は、委員会設置要項の規定により、会長である教育長にお願いいたします。

3 議事

会長：まず初めに、議事の(1)学校防災推進委員会の概要、事業計画について事務局の方から説明をお願いします。

(1) 学校防災推進委員会の概要、事業計画について【資料1・2】

(事務局から資料1及び資料2について説明)

会長：ただいまの説明に関しまして、御意見や、質問などありましたらお願いしたいと思います。

質問等はないようですので、続いて議事の(2)各学園、学校の学校防災事業実施計画について、事務局から説明をお願いします。

(2) 各学園、学校の学校防災事業実施計画について【資料3・4】

(事務局から資料3及び資料4について説明)

会長：ありがとうございました。ただいまの説明に御意見などありましたらお願いしたいと思います。

本日は、校長先生、園長先生にお越しいただいておりますので、避難訓練を実施するときの現状や課題などありましたらお願いします。また、危機管理マニュアルの策定は行っていますが、そういった中での課題や資料3で示された内容について、状況課題やお願いしたいこと等も含め、御意見を頂け

ればと思います。

尾見副会長：秀峰筑波義務教育学校の校長の尾見です。よろしくお願いします。今日も地震がありまして、市役所にいたので気付かなかったのですが、職員の方々の携帯電話が鳴り、地震があったのかと感じたところです。学校ではどういう反応があったかはまだ確認できておりませんが、校舎によって様々だと感じると思います。私も校長として3校目ですが、今の勤務校は非常に新しく、上から物が落ちてくるという心配が比較的少なく済む校舎です。蛍光灯がまだ使われている学校になりますと、頭を守る行動がとても大切になってくると思います。今年度御提案いただいたショート避難訓練というものが、定期的に行われることによって、子供たちの意識も高まってくるのではないかと思いますし、教員もその施設に応じた対応の仕方を学校の中で検討しながら、避難訓練での避難行動を検討し、より良いものを作っていくことが必要になると考えております。

会長：ありがとうございます。避難訓練を実施しながら改善点を見つけていくことは、すごく大事なと思います。

山田委員：竹園東小学校の山田です。本校は、今年度通路の屋根の工事をしていただく予定ですが、だいぶ限界がきており、まとまった雨が何回かあるたびに、屋根の間から滝のように雨が漏れてきまして、子供たちが騒ぎ、「避難、避難」と言いながら経路を自分たちで研究して、「そっちに回らないとずぶ濡れになるよ」と言いながら、避難しながら自分たちの教室に入っていたところを見届けて、素晴らしいなと思っておりました。

本日の先ほどの地震については、直下型のような感覚が襲ってきたように感じました。まずは避難経路を確認しましたが、教頭たちと一緒に回ってみたところ、初期の「ズン」という振動だけで子供たちはちゃんと机の下に隠れていました。やはり頭を守るという行動は、訓練のときのように、子供たちは行動するのだなと思い、日頃からしっかり訓練をしておくことは大事だなと思いました。特に小学校ですので、きちんと手順通りにやる、それからお話をしっかり聞くといった基本的なことを行っていくことは大事だと思った次第です。

会長：ありがとうございました。机の下に入るという行動は反射的に動くようになっていると思いますが、私は東日本大震災のときに、県庁に勤めていて、県庁の22階にいました。職員の机は両袖机で、机の下に入った職員がいましたが、揺れの方角と引き出しの方角が一致している机の並びの人は、

引き出しが全部飛び出してきて机の足が折れて机の下に埋もれてしまい、みんなで助け出したという経験がありました。その時の状況に合わせた避難というのは大事で、決まり文句ではだめだなとそのとき私はすごく思いました。子供たちの机は丈夫なのでそういうことはないかと思いますが、固定概念にとらわれず、その状況に合わせて避難するということを、いつも考えさせておかないとだめなのかと思ったことを思い出しました。岡田委員から、御意見などはありますか。

岡田委員：竹園東中学校の岡田です。本校の校舎は、子供たちの教室はプレハブなものですから、非常に揺れに敏感で、今日ちょうど教室を見て回ったときに、震度2の地震が来て、結構揺れを感じて子供たちが机の下に隠れたのを見て、よくできているなと感心しました。

反省になりますが、2011年の地震を経験している子供たちがもういなくて、何となく避難訓練するのが目的になってしまっているところが子供たちも、我々もあるのかなと感じています。いつ自然災害が来るか分からないので、例えば避難訓練のやり方とか、シチュエーションを変えながらやっていくことが大事だろうと日々感じています。

もう1つ、御存知であれば教えていただきたいのですが、本校では登下校の際に、危険回避ということで、警報が出た場合には保護者に自宅待機を案内しています。大雨警報・暴風警報はもちろん自宅待機としていますが、洪水警報が出た時の対応が分からなくて、竹園東中学校の東側に花室川があるのですが、調べると洪水警報の対象になっていないと書いてあります。一応保護者の案内の方には、暴風警報、大雨警報の場合には自宅待機してください。洪水警報のときには、花室川は対象外ですので、状況を見て確認してくださいと案内をしています。これが正しいのかどうか分かる方がいらっしゃったら教えていただければと思います。よろしくお願いします。以上です。

会長：ハザードマップで花室川があって、塗られていなかったような気がしましたが、どうですか。

岸田委員：危機管理課の岸田です。花室川もハザードの対象にはなっているのですが、基本的に塗られているところにお住まいの方というのは、十分警戒していただく必要があると思います。また、登下校時にもそこを通るのは非常に警戒する必要があります。ハザードエリア内を通学路としている生徒はいるのでしょうか？

岡田委員：ハザードエリア内を通学路としている生徒はいません。

岸田委員： 通学路に設定していないとしても、警報が出ている際は、ハザードエリア内に寄り道するなど何らかの理由で通ることは避けていただく必要があるかなと思います。

会長：ハザードマップを今一度確認しながら、自分の登下校のルートと照らしてみるとというのは大事かなと思います。植木委員から御意見等はございますか。

植木委員：幼稚園は小さな子供たちを預かっていますので、まずは初めての集団生活に慣れてもらい、集団生活のルールや集団で暮らせる、みんなが気持ちよく過ごせるルールを確立して目的に向かっていく力を育んでいます。ある程度幼稚園での生活が安定したときなら良いですが、初めての集団生活に入ったばかりの状況や、保護者の方もまだまだ慣れていない状況、心配があるような状況で発災したときの危機感を感じています。そういった意味でも登園バスを運行していますが、バスに乗って登園しているお子さんの危機管理ということでは、避難訓練として一番大事かと思い、初めに避難訓練をさせていただきました。いきなり集団生活が慣れていないお子さんがやると、少し恐怖を与えてしまうかなということで、1年経験しているお兄さんお姉さんである年長児さんがまず見本を見せて、それをモデルとして次の回に避難訓練で小さいお子さんたちが真似して練習するというような訓練を行いました。

それから、谷田部幼稚園はとても広い園区です。学校では中学校を中心として、学園単位で引渡しを含めた避難訓練をされていると思いますが、調整に難しさを感じており、今の課題として感じているところです。また小さい子たちが先に迎えに来ることになりますと、次の小学校、或いは中学校のお兄さんお姉さんまで跨っていることもあるため、最後の方がいいのではないかというお話もありますので、ひたすらお迎えを待つ。そして、安心感を与えながら恐怖心を持たないように見守りながら預かるということ、一番気を付けていきたいと思っています。

会長：ありがとうございます。幼稚園で初めて家の外へ出るというか、そういう時期ですのでまず避難するという意識が身についていない時期なのかと思いますし、谷田部幼稚園は特に広いので、保護者との連携がなかなか難しいかと思います。そこに危機意識を持って進めていただいているということはすごく大事なことだと思います。秀峰筑波も本当に広く状況も様々なので、日頃の訓練がまた大事だということになるのかもしれないなと思い

ました。他に御意見がありましたらお願いします。長屋様お願いします。

長屋氏：資料4についてですが、事務局にお伺いしたいことがあります。この学校へのアンケートは、このまま質問されたということでしょうか。例えば、避難訓練の場合はショート避難訓練を実施するかどうかチェックをつけていただくというような形で、アンケートを取ったという理解でよろしいですか。

会長：事務局お願いします。

事務局：長屋様のお見込みのとおり、チェックボックスにチェックをつけてもらうようにしました。

長屋氏：ここの記載もショート避難訓練と書いて実施されたということですね。

事務局：はい。

長屋氏：わかりました。回答が50校中26校と少し低く見えますが、多分これは実際にはもっと実施していて、カッコ書きでシェイクアウト訓練と書いていたらもっと回答率は上がったんじゃないかなと思います。なので、この数字を鵜呑みにしないで欲しいのと、この数字を悲観的にする必要はなく、実際にはもっと実施しているはずです。これは、危機管理課がずっと実施してきた訓練であるはずなので、キーワードが違うだけで同じものだと認識していない場合があるのではないかと思いますので、次回のアンケートでは留意いただければと思いました。

あともう1つ、先ほどショート避難訓練のマニュアルの件を御紹介いただいたのですが、今ここで先生方のお話を聞いて、私もお手伝いさせていただきましたが、地震が起こったときに危ないものから離れる、その場にしゃがむという行動をとりなさいと作成しましたが、実は、机の中に入るという行動との対比を書いていなかったと思い、書かなければいけないと思いました。基本は同じですが、先ほどお話があったように学校の机は頑丈なのでその中に入ることによって、危ないものから離れたのと同じ意味があるということと、机の中に入ると必然的に安全確保になるので、この両方をいっぺんにやっているだけです。ということを本来書くべきでした。この部分を書き忘れたなと思ったので、後で事務局と相談をして追記したいと思います。

最後に、先ほど岡田委員からお話があった、警報でという話については、この場でルールを決めるべき話だと思います。どういうふうになったときにどうするかと、単純にその場の流れだけではなくて、週末を跨いだときに、土曜日、日曜日に台風が来そうだというときにどうするのか、その連絡体制も含めてこの場で議論をされて、まず基本のルールというのを作るべきだと思います。その上で、各学校さんの応用動作をどうするのかというのを議論するべきだと思います。数年前にこういった機会に教育総務課さんが作られた、学校危機管理マニュアル作成の手引きというのがあるのですが、その中に記載があったように私は記憶しているので後ほど御覧いただければと思います。

会長：警報のときのルールは、おおよそ決めてあったと思います。岡野委員、学校との連絡のルールはどうなっていますか。

岡野委員：学び推進課岡野です。警報のルールというところは、今すぐに明確に申し上げることができず申し訳ないですが、地震の際に震度5以上は必ず学校の状況点検、報告をすることなど、学校とも共有し、共通理解としています。警報が出たときの対応についてはもう1回確認したいと改めて思っているところです。

会長：学校側からすると、どうしておいておくの良いとかはありますか。

岡田委員：竹園東中学校岡田です。以前も、岡野委員から、荒天時の登下校について事前に家庭の連絡をすると良いですよというアドバイスをいただいていた、本校では学校が先手を打って、台風で明日の午前中は休みですとか、休校ですという連絡ができれば、もちろんベストだと思います。それができないときに、各家庭で御判断してくださいとならざるを得ないときもあるかなということで、一応本校では、今年度4月の当初に、校長、教頭、教務主任、指導主事と話し合いをしまして、警報が出ているのであれば無理して登校させるということは難しく、特に本校の生徒は、ほとんどが自転車通学のため難しいということで、警報が出た場合には簡単に言うと、遅刻にならないので自宅で待機してください。そのあと学校からの連絡、もしくは天気予報での警報解除が判断できれば、登校してくださいというような案内をさせていただきました。学び推進課に確認もせずに勝手に本校だけで基準を作ってしまう申し訳なかったと思っていますが、確かに基準があった方が、学校も家庭もシンプルで分かりやすいのかなと感じています。

会長：ありがとうございます。学校で判断してもらうのも大事なことです。他の学校はその点についてどうですか。

尾見副会長：秀峰筑波の尾見です。昨年度の終わり 3 月 22、23 日ぐらいのときに、登校時に雷が鳴って暴風が吹き、雨が強く降ってきたときがありました。自転車に来る子たちが危険だなと思う反面、本校は 8 割近くの生徒はバスで登校していますので、安全に校舎に入っているという状況が生まれているところがあり、対応の難しさをすごく感じたことがありました。きっとこの強風は学園地区では吹いていないだろうなと思いながら、地域性、地区独特の課題というものも多々あるのかなと思うので、きっと市内で一律にというのは難しいのかと思うところもあります。ですから、学び推進課から出していただくものがあったらそれを基準にして、地域ごとに良く考えてという判断を迫られるのかなと、昨年の様子を見ながら思っています。

会長：山田委員どうでしょう。

山田委員：本校では特別な方針というのはないのですが、何か起きますと、大概是学園で話し合いをして、そこでどうするかということを決定していきます。いろいろな決定はスクリレで流している状況ではありますが、他校はどうしているかというのは知りたいなとも思っています。連携しやすいところにはあるけれども、例えば吾妻地区はどうかとか、他の並木地区はどうかというのは常に考えてはいるので、ある程度の基準や一斉に何か参考として流れてくるものがありますと、もっと早く連携しやすいのかなというのを感じます。ある程度の基準と地域ごとの判断とどっちがどうという訳ではないと思います。やはり、つくば市は非常に面積が大きいので、先ほど尾見副会長がおっしゃったように、その地域によっての状況というのはおそらく違うと思います。ですが、それは参考程度にでも、何か所かに分けたこの辺りはこうというようなお話があるといいなと思います。

本校に気象庁関係の保護者がかなりおられて、様々な態度決定のときに、本部役員さんに気象庁の方がいらっしゃるので、必ず相談しています。そういった方がいらっしゃるとすごく安心なので、やはり先ほどの話に戻ってしまいましたが、何かの根拠を基に発信していただけるとありがたいなと他の学校さんも思っているのかなと思っています。

会長：警報が出たら基本的に無理して登下校しないというところは基本であ

って、今の地区の状況もあるので学校や学園ごとに判断するというのは、基本にはしていると思いますが、岡野委員どうですか。

岡野委員：学び推進課です。登下校のとき、各家庭の判断は1つあると思いますが、自然災害で特に台風ですとか、学校を市内一律に早帰りをしますとか、そういうときの判断は、やはり根拠がないとできないので教育総務課とも連携しながら、県内に警報が出ているかとか、あとは危機管理課からも市内で警報が出ているかとか、そういうところを確認しながら、そこがまず根拠の前提にはなっているのは間違いないです。それを踏まえて、各学校の場所によって状況は違えども、一律にという判断はいつもしているところです。ただ最終的にはそれが出る、出ないということを踏まえて御家庭の判断を常に意識してくださいというところを求めていくところになると思います。

会長：宮田委員、保護者の立場からこういった状況で何か迷うとか、学校からこのような連絡があるとありがたいですとか、そんなことがありましたらお願いしたいと思います。

宮田委員：つくば市P連会長の宮田です。私は吾妻中学校PTA会長でもありますが、基本的には早めに連絡をいただいて、次の日に休校になりそうであれば、前日から連絡をいただいて、非常に早めに連絡をいただけるのはありがたいなと思っています。たとえ、結果的には休校にならなかったとしても、やはり前もってリスクを考えて判断をしていただいているので、我々保護者としてはすごく安心しているという状態です。年々、その判断力は速くなっていると思っており、ありがたいと思っております。あとは、私は私のエリアしか知らないのも、他のエリアでどうなのかと、それを統一したほうがいいのかというのは私には判断しかねますが、速やかに連絡いただけるのは大変ありがたいなと思っています。

会長：そういう考え方で進めているとは思いますが。長屋様、今の話を聞きながら何か考えたことありましたらお願いします。

長屋氏：伺っていて幾つかの議論が混在していると思います。まず、台風というものと、積乱雲とかの突発的な雨との話が少し混在していた気がしました。皆さんの議論の中ではある1つの警報とかそういったものをトリガーにしてということの議論が進んでいるのですが、もちろん判断基準はとて

も重要ですが、一方で雨災害は基本的にタイムラインがあって、時系列がそこに存在していて、台風だったら発生してから、我々ところに近づくまでの相当の時間があるし、積乱雲系の雨でもその日の朝とかから、相当に気圧の状況が不安定だというのはわかっていて、起こるという時系列がそこに存在しているので、その中での今の連絡をどうするかという議論だと思います。

基本としては、教育委員会の学び推進課なり教育総務課なりがルール決めるものであって、どこからが、学校判断なのか立て付けをしっかりとあげることによって先生方もはっきりすると思います。教育局の方もはっきりすると思うし、保護者もはっきりするのではないかなというふうに思いましたので、そこは議論して整理する必要があるかなと思います。まさに本委員会がそういう場かもしれないと思います。素案を作って、皆さんに御意見を賜るようなことをする方がいいのかもしれないなと思いました。

会長：おっしゃる通りだと思います。教育総務課が作成したマニュアルもあるので、教育総務課と学び推進課で整理して、後で提案をするというのがいいかなと思いますがいかがですか。

事務局：教育総務課です。今のお話を聞きながら、教育総務課の方で過去に学校に向けた危機管理マニュアル作成の手引きというものをしています。先ほど長屋様の話もあったように、そこにも台風接近時の対応が書いてありますが、作成してから数年経っている状況ですし、先ほど長屋様がおっしゃったように、近年は、台風以外にもゲリラ豪雨など想定外の気象も多いので、その辺り含めてもう一度局内で見直して、どういうふうに周知できるかというのは考える必要があるのかなと思います。

会長：ありがとうございます。そのところをこれから整理し直すということで、次回には提案ができるようにさせていただきたいと思います。もしくは、学校にはもっと早く周知するのもかもしれないです。早い方が良いと思います。他にありますでしょうか。宮田委員お願いします。

宮田委員：つくば市P連会長宮田です。改めて、保護者の立場でこうやって市と学校と連携して防災計画を作っていただいて子供たちの意識も高まっていますし、それによって保護者の意識も地域意識も高まっているので非常に感謝しています。ありがとうございます。先日、つくば市PTAの会長が集まる会をして情報交換をしたのですが、一部の伝統がある小学校といいま

すか、少し傷んでいる小学校の中で、校内放送の機器の調子が悪いというようなお声をいただいています。PTA から市に対して何か直せないかということでリクエストしてはいますが、長寿命化計画とかいろいろありますので、その状況でなかなか手が回らないと。ただ我々保護者の立場からすると、もし何かの災害が起こったとき、あと会長がおっしゃったように、不審者が入ってきた時に、最初に広い敷地の中で、子供たちに連絡しないといけないそのツールとして、校内放送は非常に重要だと思います。ですので、そうした設備の点検、そして修理というのは、ぜひ優先してやっていただきたいなと思います。この計画の中で、設備の点検という内容は入ってなくて、他のところで実施しているのかもしれませんが、少し気になりました。不具合があって、すぐに直すにはお金がかかる、すぐに直せないことになったとしても、例えばこの教室の放送が聞こえにくいことが分かっていたら、先生方がそこだけは行くとか、ソフト的なケアもできると思いますので、何かそういう現状を知っておく。特に、新しい学校ではない学校に対してはそういうケアも必要ではないかなというふうに思いました。

会長：教育施設課長、お話がありましたが、実際に学校から校内放送設備の修理の要求や更新の要求の状況、点検についてのお話もありましたので、その辺りについてお願いします。

勝村委員：教育施設課長の勝村です。お話いただいた件につきましては、学校から随時修理の要望とかいろんな相談を受けております。ただ、おっしゃるように簡易的に直るものと、かなり手を加えなくてはならないものというのがいろいろ出てきますので、そこは学校と協議しながら最善の策を取りながら進めているところです。その辺のところは御了承いただければと思います。

会長：点検はどうですか。

勝村委員：設備点検は、消防設備の方は定期的に行っているのですが、校内の一般の設備の方は全て行っているかと言われると、そうではないところもあるのかなとは思っています。

会長：消防設備点検は定期的に行っていますので、それに伴って緊急放送の点検は多分しているはずだと思います。それでも不具合が出ているところが何件あるのかもしれないです。ぜひそこは早めに進めたいと思います。あ

りがとうございます。

長屋氏：今の宮田委員のお話を聞いていて、ひとつ思い出したことがあります。兵庫県西宮市の小学校にお邪魔することがあったのですが、西宮市の小学校では廊下の各所に小さい拡声器が掛けてありました。何でこれを掛けているのですかと聞いたら、地震が起こったときとかで、停電で放送が使えなくなったときのために使っているということでした。西宮市の小学校では普通に置いてあるそうで、それが特別なことだとは思っていないようでした。今、宮田委員がおっしゃったような、放送機器の不具合対策にもなるのではと思いましたので、発言させていただきました。

会長：ありがとうございます。貴重な考え方だと思います。また少しお金がかかりますが、つくばでも少し考えていきます。ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

では、先に進めさせていただきます。それでは議事の(3)になりますが危機管理課からの報告ということで、危機管理課からよろしく願いいたします。

(3) 危機管理課からの連絡事項

岸田委員：それでは、当課の担当者から御説明したいと思います。お願いします。

(危機管理課から説明)

岸田委員：ウェザーニュースについて少し補足します。いろいろ御説明しましたが、すごく簡単に言ってしまうと、ものすごくピンポイントな精度の高い気象情報を早めに入手することができる大変便利なツールです。市立の全ての小中学校、幼稚園、保育所、児童館にIDを1つずつ付与させていただいていますので、ぜひ各学校幼稚園等の施設で、この気象情報を日常的に確認される先生がおられる状況を作っていただくのが理想的と思っています。なかなか普段、使い慣れていないものですと、急に台風が来るというときだけ使おうとしても、使いこなせないと思いますので、日頃から慣れていただくためにも、先ほど御案内しましたが、既に課メールで使い方の動画等も皆様に御案内していますので、ぜひ確認していただきたいと思います。それから先日、6月17日付の課メールでこちらも各学校、幼稚園、保育所等

に周知をさせていただいていますが、7月10日に実際に学校現場の方がこれを活用している活用事例の紹介のウェビナーがあります。平日の11時から12時の時間帯になるので、見られないという学校さんも出てくると思いますが、実際の現場での活用事例の紹介になりますので、大変参考になると思います。ぜひ御覧いただければありがたく思います。

(危機管理課から説明)

会長：ありがとうございました。ウェザーニュースは、学校で操作する人は決めているのですか。

岡田委員：竹園東中学校では朝からウェザーニュースの情報を見られるようにしてあり、常に表示してあります。

会長：常に表示してあることは良いですね。有効に活用していただければと思います。これは、竜巻情報も見ることができますか。

危機管理課：竜巻の情報なども確認できたと思います。

会長：先ほどの説明では竜巻のことはなかったけれども、どこかにはあるということですね。

危機管理課：竜巻ではなくて強風の情報です。強風の情報は確認ができます。竜巻注意情報に関しては後ほど確認いたします。

会長：ありがとうございます。これについて何か質問や御意見などありましたらお願いします。

岸田委員：先ほど申し上げたようにぜひ気象情報は学校及び幼稚園で使いこなしていただけるようにしていただけるとありがたいです。先ほど(※危機管理課による説明の中で)地震の対策のお話もさせていただきましたが、学校で点検を行っていただけるといいのかなと思っておりまして、子供さんがいらっしゃる場所に関しては注意してらっしゃる学校が多いと思いますが、職員室などは盲点だと思っています。高さの高い家具とかキャビネットだけではなく、意外と低いものも強い地震のときは吹っ飛んできます。それが先生にぶつかったりとか、足の上に乗ったたりしてしまったときには、

簡単に足の骨にヒビが入ります。例えば職員室の中に置いてあるプリンターであったり、比較的重いものが足の上に落ちてきたら、先生が子供たちを守るために自由に動いたり走ったりすることができない状態になってしまいます。ぜひ、先生がけがをされることを防ぐためにも、子供さんはもちろん先生も怪我をされないような視点で一度、物品の転倒防止の対策を校内で検討いただければと思います。

会長：ありがとうございます。本当に、私も東日本大震災のときは私の後ろにあるロッカーが反対側に倒れてくれてよかったのですが、もしこっちに来ていたらと思うと怖かったなと思いました。吾妻小学校では、子供たちが点検をしているというのもすごく良いと思います。ぜひそういう形で、校長会を通じてそういう広報もしていただければと思います。よろしくお願いします。

それでは、今日も色々御意見いただいた訳ですが、学校へ伝えるものは校長会などを通じてお伝えしていきたいと思います。危機状況に関しての対応というところについては、もう一度整理をするということで進めていきたいと思います。長屋様、最後に何かまとめでありますか。

4 その他

長屋氏：皆さんのお手元にこの逃げキッドという封筒を配らせていただきました。資料4でいくつかの学校が、タイムライン作成事業をすると書いてありましたのでご紹介します。資料4では、栄小学校と並木中学校が実施となっていますが、秀峰筑波もやっています。本資料は、国土交通省が作ったものでタイムラインを学習するための子供用教材になっています。中身を開けていただくと、それぞれの自宅が水害に対してのリスクを知っていただくところから始まっています。実際、台風が来るときには、タイムラインがあり、危険が自分に迫ってくる時間的な流れになっているかということを知っていただいて、その上でそれぞれがどういう時系列で何をすべきか、ということをも自分でそれぞれ作っていただくという教材になっています。県の防災・危機管理課も本教材を使って授業をするということを推進してまして、学校が水害リスクのある秀峰筑波、栄、栗原などに防災・危機管理課がやってきて事業を実施しています。秀峰筑波については、私が授業のお手伝いをしました。

会長：ありがとうございます。貴重なものなので、活用していきたいと思い

ます。エリアの学校にはお知らせできればと思います。ありがとうございました。

では時間も参りましたので、本日の議事は終了とさせていただきたいと
思います。では事務局の方に戻したいと思います。

5 閉会

事務局：ありがとうございました。以上を持ちまして、令和7年度第1回つく
ば市学校防災推進委員会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。

令和7年度(2025年度)第1回つくば市学校防災推進委員会 次第

日 時 : 令和7年(2025年)6月25日(水)
午後3時30分～

場 所 : 庁舎2階 防災会議室(2)(3)

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

- (1) 学校防災推進委員会の概要、事業計画について【資料1・2】
- (2) 各学園、学校の学校防災事業実施計画について【資料3・4】
- (3) 危機管理課からの連絡事項

4 その他

5 閉 会

(設置)

第1条 大規模地震等の災害に対する児童等の防災対応能力の向上及び学校の防災体制の充実を適切かつ効果的に推進するため「つくば市学校防災推進委員会」(以下「推進委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 推進委員会は、次の各号に掲げる事項を協議する。

(1) 学校防災推進のために必要な次に掲げる施策等の連絡・調整に関すること。

ア 学校の防災教育の充実

イ 地域と連携した防災教育の展開

ウ 学校の防災体制の整備・充実

エ 避難所運営等に係る学校、地域と防災担当部局との連携強化

(2) その他会長が必要と認める事項に関すること。

(組織及び運営)

第3条 推進委員会は、教育長を会長、教育局長及びつくば市学校長会長を副会長とし、別表1に掲げる職にある者を委員として構成する。

2 会長は、必要に応じ推進委員会を招集し、会議の議長となる。

3 会長に事故あるとき又は欠けたときは、副会長がその職務を代理する。

4 会長は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(ワーキングチーム)

第4条 推進委員会の所掌事項に関する事項について調査検討をさせるため、推進委員会のもとに「つくば市学校防災ワーキングチーム」(以下「ワーキングチーム」という。)を置くことができる。

2 ワーキングチームは、次長(教育総務課、学び推進課担当)をリーダー、教育

総務課長及び学び推進課長をサブリーダーとし、別表 2 に掲げる職にある者をメンバーとして構成する。

3 リーダーは、必要に応じワーキングチームを招集し、会議の議長となる。

4 リーダーに事故あるとき又は欠けたときは、サブリーダーがその職務を代理する。

5 リーダーは、必要があると認めたときは、メンバー以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

6 リーダーは、ワーキングチームにおける調査検討が終了したとき又は会長から求められたときは、調査検討の結果又は必要な事項を会長に報告しなければならない。

(庶務)

第 5 条 推進委員会及びワーキングチームの庶務は、教育総務課及び学び推進課において処理する。

(委任)

第 6 条 この要項に定めるもののほか、推進委員会の運営に関して必要な事項は、会長が定める。

附 則

この要項は、平成 24 年 7 月 17 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 27 年 5 月 12 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 28 年 6 月 13 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 29 年 5 月 22 日から施行する。

附 則

この要項は、平成 30 年 5 月 14 日から施行する。

附 則

この要項は、令和元年 6 月 6 日から施行する。

附 則

この要項は、令和 4 年 6 月 3 日から施行する。

附 則

この要項は、令和 7 年 6 月 1 日から施行する。

(別表 1)

つくば市学校防災推進委員会

会長	教育長
副会長	教育局長、つくば市学校長会長
委員	・ 教育局 教育総務課担当次長、教育総務課長、学び推進課長、学務課長、教育施設課長、健康教育課長、特別支援教育推進室長、生涯学習推進課長、文化財課長 ・ つくば市学校長会小学校部会長、中学校部会長 ・ つくば市幼稚園長会長 ・ つくば市 P T A 連絡協議会代表者 ・ 市長公室危機管理課長 ・ 市民部市民協働課長 ・ 消防本部地域消防課長 ・ こども部こども育成課長

(別表 2)

つくば市学校防災ワーキングチーム

リーダー	教育局次長（教育総務課、学び推進課担当）
サブ リーダー	教育総務課長、学び推進課長
メンバー	・ 教育局企画監 ・ 教育局 教育総務課、学び推進課、学務課、教育施設課、健康教育課、特別 支援教育推進室、生涯学習推進課および文化財課の職員 ・ 市長公室危機管理課の職員 ・ 市民部市民協働課の職員 ・ 消防本部地域消防課の職員 ・ こども部こども育成課の職員

1 目 的

大規模地震等の災害に対する児童生徒の防災対応能力の向上及び学校の防災体制を充実させるため、学校と地域の連携を推進し、防災力の強化を図る。

2 令和7年度事業計画

(1) 学校防災推進委員会の開催（年2回開催予定）

第1回（6/25開催） 学校防災事業実施計画について

第2回（2月頃開催予定）学校防災事業実績報告について

(2) 学校防災研修会の開催（秋頃に開催予定）

教職員・地域の方々を対象とした研修会を開催

（参考）令和6年度実績

開催日：令和6年12月5日（木）15:30～16:30（オンライン開催）

講 師：国立研究開発法人防災科学技術研究所 池田真幸 様、李泰榮 様

演 題：『学校防災の考え方、地域と学校の協働による地域防災』

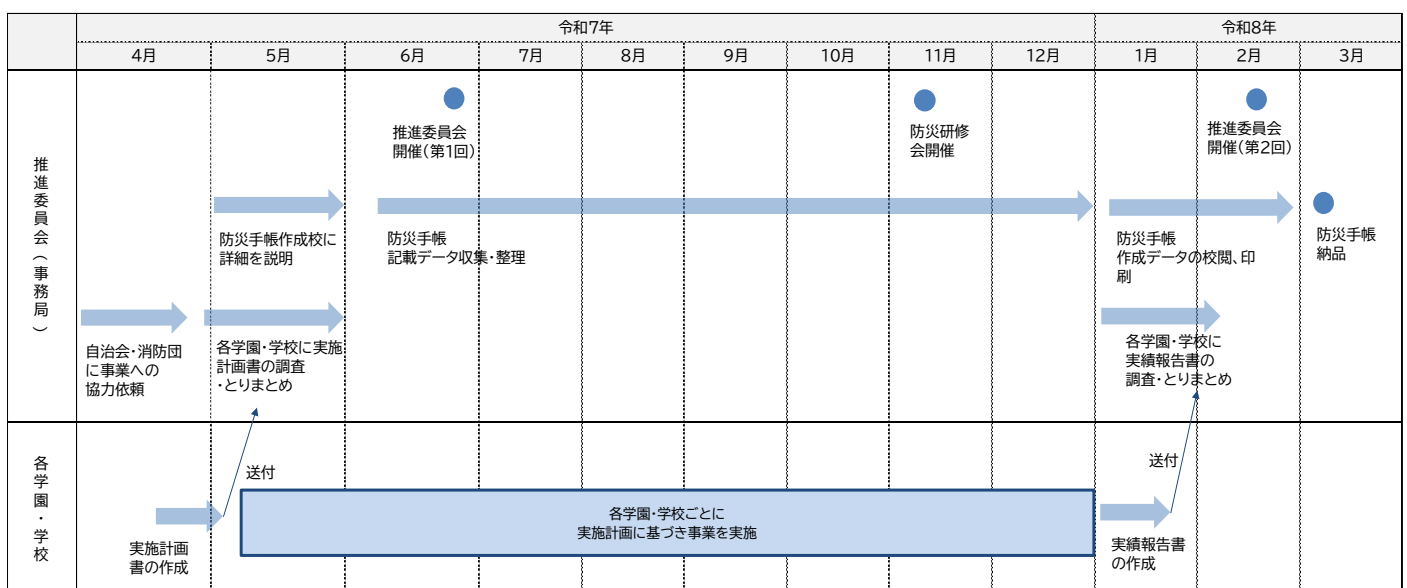
参加者：つくば市学校防災推進委員、教職員及び保護者等 100名程度

(3) 学校防災手帳の作成

今年度は谷田部南小学校、香取台小学校、研究学園小学校で作成予定

※詳細は裏面をご覧ください。

3 全体スケジュール



つくば市学校防災手帳の製作について

●学校防災手帳とは

児童生徒及び保護者のための防災冊子で、記事面と防災マップ面から成っている手帳のこと。手帳を通じて児童生徒を災害や事故から守ることを考えること、児童生徒及び保護者が常に携帯し、状況に応じた対応を促すことを目的としている。

・記事面（表面）

児童生徒に読んで欲しい事項、保護者等に読んで欲しい事項を整理して記載している。それぞれの記載内容は、近年の災害状況等を踏まえた学校教職員や保護者の意見、つくば市危機管理課及び専門家のアドバイスを受けて、随時更新。

・防災マップ面（裏面）

以下の情報を重ね合わせたマップを記載している。

- ① 行政機関（つくば市危機管理課）等が公表する防災情報（ハザード、防災施設等）
- ② 学校、PTA 及び地域が保有している情報（110 番の家等）
- ③ つくばスタイル科等の防災授業で児童が作成した防災マップの情報（ブロック塀等の倒壊危険箇所や災害時に活用可能な施設等）

※児童が調べた情報をマップに掲載することで、愛着を持ってもらい、ランドセル等に入れて常時携行する防災コンテンツになることを目指している。

●制作について

1 制作の体制

教育総務課が事務局となり、各種調整・取りまとめを行う。

防災マップ面に掲載する情報については、上記①は事務局が関係機関（部署）より収集、②は各学校より提供、③は防災単元の成果を集約し、事務局で取りまとめを行う。

なお、防災単元授業の実施、児童が作成した防災マップの情報精査等にあたっては、専門家（国総研）による支援も実施する。

2 各学校の作成状況

令和7年度は「谷田部南小学校」「香取台小学校」「研究学園小学校」で作成予定

作成年	学校名	作成年	学校名	作成年	学校名	作成年	学校名
H30	葛城小学校	R3	桜南小学校	R5	二の宮小学校	R8	九重小学校
H30	大曾根小学校	R3	並木小学校	R5	秀峰筑波義務教育学校	R8	真瀬小学校
H30	春日学園義務教育学校	R3	谷田部小学校	R5	茎崎第一小学校	R8	手代木南小学校
R1	栄小学校	R3	沼崎小学校	(R5)	(高崎中学校)	R9	今鹿島小学校
R1	竹園東小学校	R4	栗原小学校	R6	島名小学校	R9	要小学校
R1	茎崎第二小学校	R4	柳橋小学校	R6	小野川小学校	R9	松代小学校
R1	茎崎第三小学校	R4	前野小学校	R6	吉沼小学校	R10	みどりの南小学校
R2	上郷小学校	R4	学園の森義務教育学校	R7	谷田部南小学校	R10	みどりの学園義務教育学校
R2	竹園西小学校			R7	香取台小学校	R10	さくら小学校
R2	東小学校			R7	研究学園小学校	(毎年)	(吾妻小学校)



1 学校防災連絡会議

内容	R7 実施予定校数
各学園又は学校において、児童生徒や地域住民の防災力向上と実践的な態度の育成を図ることを目的として、学校防災連絡会議を開催し、地域と連携した避難訓練や外部講師を活用した防災教室等を実施している。なお、年度当初に教育局から各自治会、消防団宛てに協力依頼を行っている。	32 校/50 校

2 避難訓練

項目	内容	R7 実施予定校数
引渡し訓練	学園、学校単位で実施する災害や緊急時等に子どもを保護者に引き渡すための訓練	50 校/50 校
引き渡し訓練以外の定例的な避難訓練	各学校で実施する地震や火災、不審者を想定した定例的にを行っている訓練	50 校/50 校
ショート避難訓練	学校管理下における様々な時間帯で、地震発生等の緊急時に対して身を守る行動（危ないものから離れる、その場にしゃがむ）を自ら考えて取る力を重点的に身につける訓練	26 校/50 校

3 つくばスタイル科など授業・学校活動での取組

項目	内容	R7 実施予定校数
つくばスタイル科 防災バッグの作成	非常時に持ち出しする用品のマイ防災バッグを作成する。 【対象 3-4 年生】	小学校 25 校/32 校 中学校 2 校/14 校 義務教育学校 3 校/4 校
つくばスタイル科 防災マップの作成	自分たちが住んでいる地域を歩き、災害時を想定した地域の防災マップを作成する。【対象 5-7 年生】	小学校 27 校/32 校 中学校 5 校/14 校 義務教育学校 4 校/4 校
つくばスタイル科 講話等の聴講	専門家（外部講師）等による防災に関する講話等	20 校/50 校
その他	マイタイムライン作成、避難所づくり、防災かるた等	18 校/50 校

4 教職員研修・講話など

項目	内容	R7 実施予定校数
防災に係る教職員研修・講話（つくば市学校防災研修会を除く）	研究者やつくば市危機管理課の職員等の専門家（外部講師）による研修、教頭等による職員研修等	12 校/50 校
救急救命講習	養護教諭やつくば市消防署職員、日本赤十字社職員等による講習	47 校/50 校
警察署等の防犯講習	つくば警察署職員による講話、さすまたの使用法、不審者シミュレーション等	38 校/50 校

5 その他 PTA・地域の方々を対象とした取組み

防災キャンプ、防災倉庫点検、炊き出し訓練 等を独自の取組みを予定している学校もある。

6 学校単位での危機管理マニュアルの策定

危険等が発生した際に教職員が円滑かつ的確な対応を図るため、毎年各学校、幼稚園で危機管理マニュアルを作成している。

※ 学校保健安全法に基づき、全ての学校において作成が義務付けられている。



地震を想定したショート避難訓練 実施の手引き



令和7年(2025年)4月1日作成

つくば市教育局教育総務課

目次

- 1 ショート避難訓練とは
- 2 ショート避難訓練の実施により期待される効果
- 3 ショート避難訓練の実施方法（例）
- 4 実施にあたっての留意事項

1 ショート避難訓練とは

学校等で実施されている、地震を想定した避難訓練では、事前に避難訓練の実施が児童・生徒に告知され、予定時刻に地震発生が放送で通知され、児童・生徒は机の中に入るなどの安全を確保する体制を取り、地震の揺れが収まった通知とともに校庭等に避難する、シナリオ型のものが一般的となっている。

シナリオ型の避難訓練は、シナリオで想定されている授業中などの状況では効果が期待できる。しかしながら、地震は授業中に限らず様々な時間帯で発生し、教職員が児童・生徒に的確な指示、指導が困難な状況下においても自ら身を守る行動をとることについての意識付けが重要である。

ショート避難訓練は、学校管理下における様々な時間帯における地震発生に対して身を守る行動（危ないものから離れる、その場にしゃがむ）を自ら考えて取る力を重点的に身につける訓練である。地震発生直後の行動にポイントを絞ることにより、短時間で実施することが可能であり、様々な状況を想定した訓練が可能である。

なお、本手引きを作成するにあたり、吾妻学園吾妻小学校、豊里学園沼崎小学校、国土技術政策総合研究所に協力を頂いています。

2 ショート避難訓練の実施により期待される効果

- (1) シナリオ型の避難訓練では想定していない、様々な状況（例：休み時間、給食準備中など）における退避行動について、児童生徒が判断する能力を養うことができる。
- (2) 短時間かつ簡単に実施できることから、複数回の訓練を重ねることで、教職員の指示がなくても適切な退避行動がとれるようになる。

3 ショート避難訓練の実施方法（例）

(1) 基本的な実施方法

ア 事前告知

実施日当日の朝に、ショート避難訓練を実施する旨を告知する。

告知例：「本日中に地震を想定した避難訓練を行います。地震発生放送があったら、自分で身を守る行動（危ないものから離れる、その場にしゃがむなど）を考えて、行動してください。」

イ 訓練開始（地震発生のお知らせ）

地震が発生した旨を放送で通知する。

放送例：「訓練を実施します。ただいま、強い地震が発生しました。皆さん、身を守る行動を取ってください。」

ウ 訓練終了

訓練開始から概ね1分経過後、地震が収まり、訓練を終了する旨を放送で通知する。

放送例：「地震が収まりました。これで訓練は終了です。それぞれ、元の活動に戻ってください。」

エ 振り返り

訓練時にどこにいて、そこではどのような危険があると考え、どのような行動を取ったかなどを振り返り考える時間を設けることで、改善点や良かった点を共有し合い、より効果的な行動へとつなげる。

(2) 発展的な実施方法

短時間で実施することができるショート避難訓練は、複数回の訓練を重ねることで効果を高めることができる。

また、複数回の訓練を実施する際には、以下のような工夫を加えることでより効果的な取組となる。

ア 様々な時間帯で実施する

授業中や休み時間、清掃時間など、学校管理下における様々な時間帯で実施

することで、いかなる状況においても自ら身を守る行動を取ることにについて意識付けることができる。

イ 事前告知を行わない

事前告知を行わないことで、児童・生徒はいつ訓練が行われるか予測できないため、実際の地震発生時と同様の状況に対応する力を身に付けることができる。

ウ 地震発生の場合

地震発生の場合を言葉での伝文ではなく、緊急地震速報の音声などを活用する。

4 実施にあたっての留意事項

- (1) 訓練の実施にあたっては、児童生徒が不意を突かれ、慌てた行動をとり事故等につながらないように留意する。例えば、休み時間に実施する場合に遊具で遊んでいる児童生徒がより危険な行動（ジャングルジムから飛び降りるなど）をとらないように留意する。
- (2) 低学年の児童等においては、混乱が生じないように、地震発生 of 放送で訓練である旨を強調する。
- (3) 特に訓練の実施、詳細な時間を事前告知しない場合においては、安全に訓練を実施できるかを確認した上で実施する。

💡ポイント

訓練は、児童生徒が怪我などをしないように安全に配慮して実施することが大切です。しかし、実際の災害はいつどのような状況下で発生するか分からないため、安全が担保されない様々な状況（遊具で遊んでいるときや給食の準備中など）での退避行動について児童生徒が判断する能力を養うことも重要です。

初めのうちは安全が担保された状況で訓練を実施し、複数回の訓練を重ねる中で、安全に配慮しながら様々な状況で訓練を実施してみましょう。

No.	学校名	問1 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (引渡し訓練・防災連絡会議・定例的な避難訓練)	問2 問1の取組について、記載例を参考にして実施予定の時期・対象者・参加予定人数を記入してください。	問3 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (つくばスタイル科など授業・学校活動での取組)	問4 今年度に実施予定の学校防災に係る取組(教職員研修・講話など)	問5 問4の取組について、記載例を参考に詳細を記入してください。	問6 PTA・地域の方々を対象とした取組について(合同引渡し訓練・学校防災連絡会議を除く)
1	栄小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・避難経路確認 4月 対象者:職員・全校児童 約290人 ・防災研修 8月 対象者:教職員 約90人 ・シェイクアウト訓練 9月 対象者:職員・全校児童 約290人 ・つくばスタイル科 9月 マイバッグ作り 対象者:3年児童・担任・保護者 約80人 ・つくばスタイル科 2月 マイタイムライン作成 対象者:5年児童・担任・保護者 約100人 ・定例的な避難訓練 地震想定 5月 竜巻想定 9月 不審者想定 2月 対象者:全校児童・教職員 約290人	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 □ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他(5年 マイタイムライン作り)	■ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・防災に係る教職員研修:8月 (講師長坂俊成先生 立教大学教授) - 主な内容:地域の防災について ・救急救命講習 9月 - 講師:本校教職員 ・防犯講習 11月 - 講師:つくば警察署職員	学園合同引き渡し訓練 学園防災連絡協議会
2	九重小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・桜学園合同不審者対応さず股使用方法に関する訓練:4月 対象者:教職員 ・桜学園合同引渡し訓練:6月 対象者:全校児童生徒・教職員・保護者 約500名 ・学校防災連絡会議 10月 対象者:教職員 地域の方々 約50名 ・定例的な避難訓練 火災想定:5月 地震想定:9月 不審者想定:11月 対象者:全校児童生徒・教職員 約330名	□ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 6月 - 講師:赤十字茨城県支部職員 ・防犯講習 1月 - 講師:つくば警察署職員	今後検討する予定です
3	桜南小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 □ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・桜並木学園合同引渡し訓練:5月 対象者:全校児童生徒・教職員・保護者 約500名 ・学校防災連絡会議:11月 対象者:教職員 地域の方々 約30名 ・定例的な避難訓練 火災想定 12月 地震想定 5月 不審者想定 9月 対象者:全校児童生徒・教職員 約400名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	■ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・防災に係る教職員研修(児童も含む):11月 - 講師:Dr.ナダレンジャー - 主な内容:自然災害科学実験教室 ・救急救命講習:7月 講師:1)ライフセーバー協会員 2)養護教諭 - 主な内容:1)着衣泳と水難事故防止 2)AED講習 ・防犯講習:8月 講師:つくば警察署職員 - 主な内容:不審者対応について	防災に係る児童・教職員研修に、保護者や地域の方々も参加可能とする予定です。
4	栗原小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・学園合同引渡し訓練:5月 対象者:全校児童生徒・教職員 約400名 ・学園防災連絡会議 第1回 5月 対象者:教職員 地域の方々 約20名 - 第2回 8月 対象者:教職員 地域の方々 約150名 ・定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 5月(兼合同引渡し訓練) 竜巻想定 6月 豪雨災害 9月 不審者想定 12月 - 対象者:全校児童生徒・教職員 約400名 ・ショート避難訓練 シェイクアウト訓練 9月	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	■ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・防犯講習 4月 - 講師:つくば警察署職員 主な内容:さすまた講習会 ・救急救命講習 6月 - 講師:日本赤十字社職員 主な内容:心肺蘇生訓練 ・防災に係る教職員研修:8月 - 講師:立教大学 長坂先生 主な内容:災害時における避難所設置について	
5	竹園東小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・竹園学園合同引渡し訓練:5月 対象者:全校児童・保護者・教職員 約1400名 ・学校防災連絡会議 12月 対象者:教職員・地域の方々 約40名 ・定例的な避難訓練 地震想定 4月・5月 火災想定 9月 不審者想定 1月 - 対象者:全校児童・教職員 約800名	□ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 7月 - 講師:医師 ・防犯講習 1月 - 講師:つくば警察署職員	
6	並木小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 □ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・桜並木学園合同引渡し訓練:5月 対象者:全校児童生徒・教職員 約450名 ・学校防災連絡会議 11月 対象者:教職員 地域の方々 約30名 ・定例的な避難訓練 火災想定 11月 地震想定 5月 不審者想定 7月 - 対象者:全校児童生徒・教職員 約450名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 4月 - 講師:養護教諭 ・防犯講習 7月 - 講師:つくば警察署職員	
7	吾妻小学校	□ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 □ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・吾妻学園合同引渡し訓練:5月 対象者:全校児童生徒・教職員 約1500名 ・定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 9月 不審者想定 11月 - 対象者:全校児童生徒・教職員 約800名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他(防災研より講師を招聘しての授業)	□ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 6月 - 講師:つくば市消防署職員 ・防犯講習 12月 - 講師:つくば警察署職員	防災キャンプ(9月) 防災吹き出し訓練(1月、2月)
8	谷田部小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 □ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・輝翔学園合同引渡し訓練:5月 対象者:全校児童生徒・教職員 約800名 ・学校防災連絡会議 11月 対象者:教職員 地域の方々 約200名 ・定例的な避難訓練 火災想定 2月 地震想定 9月 不審者想定 11月 - 対象者:全校児童生徒・教職員 約800名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	■ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・防災に係る教職員研修:4月 - 主な内容:避難場所と避難経路の確認 ・救急救命講習 8月 - 講師:本校養護教諭(PUSH指導者資格所持) ・防犯講習兼不審者対応教職員研修 11月 - 講師:つくば警察署職員 - 主な内容:さすまたの使い方	
9	真瀬小学校	□ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 □ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・高山学園合同引渡し訓練:6月 対象者:全校児童生徒・教職員 約130名 ・定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 9月 不審者想定 1月 - 対象者:全校児童生徒・教職員 約130名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 - 講師:つくば消防署職員 ※日程調整中	
10	島名小学校	□ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・高山学園合同引渡し訓練:6月6日(金) 地震想定 - 対象者:全校児童生徒・教職員 約440名 保護者 約310名 ・定例的な避難訓練:火災想定 5月23日(金) 竜巻想定 9月 不審者想定 1月 - 対象者:全校児童生徒・教職員 約440名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月21日(木) 校内研修 - 講師:つくば消防署職員	○親子学級で防災に関する体験活動等を行うかもしれないが、具体的には決まっていない。
11	葛城小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 □ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・学園合同引渡し訓練:5月 対象者:全校児童・教職員 約540名 ・学校防災連絡会議 11月 対象者:教職員 地域の方々 約40名 ・定例的な避難訓練 火災想定 12月 地震想定 4、9月 不審者想定 1月 - 対象者:全校児童・教職員 約540名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他(3年生消防見学 4年生防災教室)	□ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 7月 - 講師:つくば消防署職員 ・防犯講習 1月 - 講師:つくば警察署職員	4年生防災教室(12月)

No.	学校名	問1 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (引渡し訓練・防災連絡会議・定期的な避難訓練)	問2 問1の取組について、記載例を参考に実施予定の時期・対象者・参加予定人数を記入してください。	問3 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (つくばスタイル科など授業・学校活動での取組)	問4 今年度に実施予定の学校防災に係る取組(教職員研修・講話など)	問5 問4の取組について、記載例を参考に詳細を記入してください。	問6 PTA・地域の方々を対象とした取組について(合同引渡し訓練・学校防災連絡会議を除く)
12	柳橋小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 □ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定期的な避難訓練	・輝翔学園合同引き渡し訓練 5月 全校児童、教職員 約100名 ・学校防災連絡会議 11月 対象:全校児童・教職員・地域住民 約200名 ・定期的な避難訓練 火災:1月 地震:5月 不審者:10月 - 対象:それぞれ全校児童・教職員 約100名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他(学校公開日(柳小まつり)で地域の人々への発信活動)	□ つくば市学校防災研修会の参加 □ 防災に係る教職員研修・講話(つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 7月 講師:いばらきPUSH認定インストラクター - 内容:心肺蘇生、AED ・防犯講習 10月 講師:つくば警察署生活安全課 - 内容:不審者対応、さすまた講習	11月、柳小まつりで地域の防災に関する学習発表会を行う予定
13	小野川小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 □ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定期的な避難訓練	・洞峰学園合同引渡し訓練:5月 対象者:全校児童生徒、教職員 約300名 ・定期的な避難訓練 電巻想定 9月 不審者想定 1月 対象者:全校児童生徒、教職員 約300名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 □ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ 防災に係る教職員研修・講話(つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月 - 講師:つくば消防署職員 ・防犯講習 1月 - 講師:つくば警察署職員	今のところまだ予定はありません。
14	手代木南小学校	□ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 □ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定期的な避難訓練	・光輝学園合同引渡し訓練:5月 対象者:全校児童・教職員 約400名 ・光輝学園防災連絡会議 11月 対象者:教職員 地域の方々 約30名 ・定期的な避難訓練 避難経路確認 4月 地震・火災想定 5月・9月 不審者想定 5月・11月 - 対象者:全校児童・教職員 約400名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ 防災に係る教職員研修・講話(つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	- 救急救命講習 8月 - 講師:つくば消防署職員 - 防犯講習 1月 - 講師:つくば警察署職員	
15	沼崎小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定期的な避難訓練	・豊里学園合同引渡し訓練:5月実施済 対象者:全校児童、保護者、教職員 約700名 ・学園合同学校防災連絡会議 11月 対象者:教職員 地域の方々 約30名 ・定期的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 5月 地震火災想定 9月 不審者想定 11月 - 対象者:全校児童生徒・教職員 約400名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ 防災に係る教職員研修・講話(つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 5月 - 講師:つくば消防署職員 ・防犯講習 11月(不審想定避難訓練) - 講師:つくば警察署職員 *その他計画中	
16	今鹿島小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定期的な避難訓練	・豊里学園合同引渡し訓練:5月2日 対象者:全校児童生徒・教職員 約150名 ・学校防災連絡会議 10月 対象者:教職員 地域の方々 約30名 ・定期的な避難訓練 電巻想定 4月 地震想定 5月 火事想定 9月 不審者10月～11月 - 対象者:全校児童生徒・教職員 約150名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ 防災に係る教職員研修・講話(つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 9月 講師:つくば消防署職員 - 防犯講習 11月(隔年実施)	通学路点検(5月)
17	上郷小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定期的な避難訓練	・豊里学園合同引渡し訓練:5月 対象者:全校児童生徒・教職員・保護者 約450名 ・学校(学園)防災連絡会議 12月 対象者:教職員 地域の方々 約30名 ・定期的な避難訓練 火災想定 9月 不審者想定 1月 - 対象者:全校児童生徒・教職員 約300名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ 防災に係る教職員研修・講話(つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月 - 講師:つくば消防署職員 ・防犯講習 1月 - 講師:つくば警察署職員	・上小キャンプ(講話、サバイバル飯づくり等) 時期未定 対象者:児童・地域の方々・教職員 約80名
18	大曽根小学校	■ 学校防災連絡会議 □ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定期的な避難訓練	・引渡し訓練 4月 対象者:全校児童生徒・教職員 約900名 ・大穂学園地域防災連絡会議 8月 対象者:教職員・地域の方々 約60名 ・学校防災連絡会議 10月 対象者:教職員 地域の方々 約30名 ・定期的な避難訓練 地震・火災想定 4月 ショート避難訓練 9月 不審者想定 1月 - 対象者:全校児童生徒・教職員 約550名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ 防災に係る教職員研修・講話(つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 4月・6月 - 講師:本校看護教諭、つくば市消防署職員 ・警察署による防犯講習 1月 - 講師:筑穂交番職員	通学路の安全について考える会 6月 講師:筑穂交番職員、地域ボランティア会長 PTA主催による、防災に係る研修・講話 7月 講師:調整中
19	前野小学校	■ 学校防災連絡会議 □ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定期的な避難訓練	・各学校ごとの引渡し訓練:5月 対象者:全校児童生徒・教職員 約260名 ・大穂学園学校防災連絡会議 8月 対象者:教職員・地域の方々 約60名 ・学校防災連絡会議 9月 対象者:教職員 地域の方々 約13名 ・定期的な避難訓練 火災想定 5月 地震想定 9月 不審者想定 1月 - 対象者:全校児童生徒・教職員 約150名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他(防災キャンプ教室)	□ 防災に係る教職員研修・講話(つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月 - 医師により作成された動画の視聴と協議 ・防犯講習 1月 - 講師:つくば警察署職員	特にありません。
20	要小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定期的な避難訓練	・引渡し訓練:5月 対象者:全校児童生徒・教職員 約120名 ・学校防災連絡会議 5月 対象者:教職員 地域の方々 約20名 ・避難訓練 火災想定 4月 地震想定 4月 不審者想定 7月 電巻 9月 - 対象者:全校児童生徒・教職員 約120名	□ つくばスタイル科 防災バッグ作成 □ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ 防災に係る教職員研修・講話(つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 □ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月 - 講師:いばらきPUSH	
21	吉沼小学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 □ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定期的な避難訓練	・大穂学園学校防災連絡会議 8月 対象者:教職員・地域の方々 約60名	□ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 □ その他	□ 防災に係る教職員研修・講話(つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 9月 - 講師:つくば消防署職員 ・防犯講習 11月 - 講師:つくば警察署職員	
22	谷田部南小学校	□ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定期的な避難訓練	・原輝学園合同引き渡し訓練 5月 対象:全校児童生徒・教職員 約900名 ・ショート避難訓練 9月 対象者:全校児童・全幼稚園児・教職員 約150名 ・定期的な避難訓練 電巻想定 11月 不審者想定 1月 - 対象者:全校児童・全幼稚園児・教職員 約150名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 □ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他(避難経路、校内の安全ゾーン、避難方法、消火器・消火栓の位置の確認)	■ 防災に係る教職員研修・講話(つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・児童の緊急時対応シミュレーション教職員研修:6月 - 主な内容:緊急時の対応について確認、シミュレーション訓練【校内で意識不明となった児童(アナフィラキシーショック等)の救命措置、救急車要請】 ・心肺蘇生AEDに係る教職員研修:8月 - 講師:NPO法人 いばらき救命教育・AEDプロジェクト 川本法正先生(豊後荘病院医師) - 主な内容:AEDの使用を含む心肺蘇生法(実習を含む) ・児童消火器訓練 11月 ※緊急出動のため中止 - 講師:つくば消防署職員 - 主な内容:水消火器を使った実技演習 ・防犯講習 1月 - 講師:つくば警察署職員 - 主な内容:講話、不審者シミュレーション、さすまたの使用法(職員向け)	特になし

No.	学校名	問1 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (引渡し訓練・防災連絡会議・定例的な避難訓練)	問2 問1の取組について、記載例を参考にして実施予定の時期・対象者・参加予定人数を記入してください。	問3 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (つくばスタイル科など授業・学校活動での取組)	問4 今年度に実施予定の学校防災に係る取組(教職員研修・講話など)	問5 問4の取組について、記載例を参考に詳細を記入してください。	問6 PTA・地域の方々を対象とした取組について(合同引渡し訓練・学校防災連絡会議を除く)
23	二の宮小学校	☐ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☐ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・洞峰学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約500名 ・定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 9月 非告知型地震想定 10月 不審者想定 12月 対象者：全校児童生徒・教職員 約500名	☒ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☒ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☒ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 緊急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・防災に係る教職員研修：8月 講師：つくば危機管理課職員 ・救命救命講習 8月 講師：NPO法人いばらき救命教育・AEDプロジェクト ・防犯講習 11月 講師：つくば警察署職員 ・防犯講習 12月 講師：つくば警察署職員	
24	竹園西小学校	☐ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☒ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・竹園学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約900名 ・定例的な避難訓練 4月 地震想定とミニ不審者想定(2回)約900名 7月 竜巻と台風想定 約900名 9月 シェイクアウト訓練 約900名 11月 火災想定 約900名 1月 不審者想定 約900名	☒ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☒ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☒ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 緊急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・救命救命講習 8月 講師：つくば消防署職員 ・防犯講習 10月 講師：つくば警察署職員	
25	松代小学校	☒ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☒ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・光輝学園合同引渡し訓練：6月 対象者：学園内全校児童生徒・教職員 約1800名 ・光輝学園防災連絡会議 11月 対象者：学園内PTA・教職員・地域の方々 約50名 ・ショート避難訓練 4月 対象者：全校児童・教職員 約400名 ・定例的な避難訓練(年間3回予定 火災・不審者・地震想定) 対象者：全校児童生徒・教職員 約400名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☒ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☒ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 緊急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・救命救命講習 夏季予定 講師：元看護士職員 ・防犯講習 9月頃予定 講師：つくば警察署職員に依頼予定	つくばスタイル科での防災授業への参観・参加呼びかけ
26	東小学校	☐ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☐ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・洞峰学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約460名 ・定例的な避難訓練 地震想定 5月 不審者想定 6月 火災想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約460名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☐ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☒ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☐ 緊急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・防犯講習(不審者対応) 6月 講師：つくば警察署職員	
27	荖崎第一小学校	☒ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☒ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・高崎学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童生徒・教職員・保護者 約1250名 ・学校防災連絡会議 8月 対象者：教職員 地域の方々 約30名 ・定例的な避難訓練 地震想定 4月 火災想定 10月 不審者想定 1月 対象者：全校児童・教職員 約520名 ・シェイクアウト訓練 9月 対象者：全校児童・教職員 約520名	☒ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 緊急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・救命救命研修 6月 主な内容：動画を視聴し、心肺蘇生トレーニング ツールを使い研修 ・防犯講習 1月 講師：つくば警察署職員	特にありません
28	荖崎第二小学校	☒ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☒ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・荖崎学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童・教職員 約300名 ・学校防災連絡会議 10月 対象者：教職員 地域の方々 約50名 ・定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 9月 不審者想定 1月対象者：全校児童・教職員 約180名 ・ショート避難訓練 地震想定 11月	☒ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 緊急救命講習 ☐ 警察署等の防犯講習	・救命救命講習 8月 講師：つくば消防署職員	
29	荖崎第三小学校	☒ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☐ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・荖崎学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約300名 ・学校防災連絡会議 10月 対象者：教職員 地域の方々 約50名 ・定例的な避難訓練 地震想定 4月 竜巻想定 5月 火災想定 5月 不審者想定 7月 土砂災害 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約160名	☒ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 緊急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・救命救命講習 8月 講師：養護教諭 ・防犯講習 7月 講師：つくば警察署職員等 内容：不審者避難訓練と講話	
30	香取台小学校	☒ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☐ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・高山学園合同引渡し訓練：6月6日(金) 対象者：全校児童生徒 658名・教職員 約50名 ・定例的な避難訓練 火災想定 4月15日(火)・地震想定 9月1日(月)・竜巻想定 12月10日(水)・不審者想定 1月20日(火) 対象者：全校児童生徒 658名・教職員 約50名	☒ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☒ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☒ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 緊急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・防災に係る教職員研修：11月 講師：国土交通省 国土技術政策総合研究所 長屋 和宏先生 主な内容：未定 ・救命救命講習 4月 講師：養護教諭 ・防犯講習 8月 講師：つくば警察署職員	地域と学校の連携推進事業(防災に係る出前講座)：11月 講師：国土交通省 国土技術政策総合研究所 長屋 和宏先生 主な内容：未定
31	研究学園小学校	☐ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☐ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・虹色学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約700名 ・定例的な避難訓練 避難経路確認 4月 地震想定 9月 不審者想定 12月 対象者：全校児童生徒・教職員 約400名	☒ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☒ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☒ その他(防災手帳作成)	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☐ 緊急救命講習 ☐ 警察署等の防犯講習	特にありません。	防災キャンプ実施予定(夏)
32	みどりの南小学校	☐ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☒ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・翠輝学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約900名 ・定例的な避難訓練 シェイクアウト訓練 9月 不審者想定 10月 火災想定 1月 対象者：全校生徒・教職員 約150名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☐ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☒ その他(学校が避難所になったら)	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 緊急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・救命救命講習 8月 講師：茨城救命教育・AEDプロジェクト ・防犯講習 10月 講師：つくば警察署職員	翠輝学園合同 引渡し訓練
33	桜中学校	☒ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☐ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・桜学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約390名 ・学校防災連絡会議 5・8月 対象者：教職員 地域の方々 約30名 ・定例的な避難訓練 火災想定 9月 地震想定 5月 不審者想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約390名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☐ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☒ その他(避難所づくり、防災かるた)	☒ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 緊急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・防災に係る教職員研修：8月 講師：立教大学 長坂先生 主な内容：避難所について ・救命救命講習 6月 講師：つくば消防署職員 ・防犯講習 1月 講師：つくば警察署職員	

No.	学校名	問1 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (引渡し訓練・防災連絡会議・定例的な避難訓練)	問2 問1の取組について、記載例を参考にして実施予定の時期・対象者・参加予定人数を記入してください。	問3 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (つくばスタイル科など授業・学校活動での取組)	問4 今年度に実施予定の学校防災に係る取組(教職員研修・講話など)	問5 問4の取組について、記載例を参考に詳細を記入してください。	問6 PTA・地域の方々を対象とした取組について(合同引渡し訓練・学校防災連絡会議を除く)
34	竹園東中学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・竹園学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約2350名・ ・学校防災連絡会議 12月 対象者：教職員 地域の方々 約50名 ・定例的な避難訓練 地震・火災想定 5月 シェイクアウト訓練 9月 電巻想定 10月 不審者想定 2月 対象者：全校児童生徒・教職員 約580名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月 講師：つくば消防署職員 ・防犯講習 2月 講師：つくば警察署職員	
35	並木中学校	☐ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☐ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・桜並木学園合同引渡し訓練：5月12日 対象者：全校児童生徒・教職員 約600名 ・定例的な避難訓練 不審者想定 4月 地震想定 9月 火災想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約360名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☐ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☒ その他(災害タイムラインの作成)	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☐ 救急救命講習 ☐ 警察署等の防犯講習	つくば市学校防災研修会への参加	学園合同引渡し訓練
36	谷田部中学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 輝翔学園防災連絡会議 11月 対象者：教職員 地域の方々 約30名 ☐ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・引渡し訓練：6月 対象者：全校児童生徒・教職員 約400名 ・輝翔学園防災連絡会議 11月 対象者：教職員 地域の方々 約30名 ・定例的な避難訓練 火災想定 5月 地震想定 9月 不審者想定 11月 対象者：全校児童生徒・教職員 約400名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月 講師：つくば消防署職員 ・防犯講習 11月 講師：つくば警察署職員	
37	高山中学校	☐ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☐ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・高山学園合同引渡し訓練：6月 対象者：第7学年生徒・教職員 約140名 ・定例的な避難訓練 火災想定・地震想定 4月 不審者想定 12月 対象者：全校生徒・教職員 約430名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☒ その他(防災に係る通学路の点検、電巻・水害を想定した避難)	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月 講師：つくば消防署職員 ・防犯講習 12月 講師：つくば警察署職員	
38	手代木中学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・光輝学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校生徒・教職員 約600名 ・学校防災連絡会議 11月 対象者：教職員 保護者 地域の方々 約30名 ・定例的な避難訓練 火災想定 10月 地震想定 5月 不審者想定 11月 対象者：全校生徒・教職員 約600名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☐ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☒ その他(つくばスタイル科等で防災に係る学習をする予定。(詳細は検討中))	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☐ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 8月 講師：未定	
39	豊里中学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ☐ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・豊里学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校生徒・教職員 約850名 ・学校防災連絡会議 12月 対象者：教職員 地域の方々 約20名 ・定例的な避難訓練 地震想定 5月 火災想定 9月 不審者想定 11月 対象者：全校生徒・教職員 約450名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☐ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☒ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 7月 講師：つくば消防署職員 ・防犯講習 11月 講師：つくば警察署職員	
40	大穂中学校	■ 学校防災連絡会議 ☐ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・定例的な避難訓練 地震想定(5月)、地震想定(シェイクアウト訓練)(9月)、火災想定(10月)、不審者想定(1月) 対象者：全校児童生徒・教職員 約450名 ・大穂学園学校防災連絡会議(8月) 対象者：教職員、地域の方々 約60名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☐ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☒ その他(避難所作成についての講話や活動等)	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習(食物アレルギー) 4月 講師：つくば市健康教育課 ・防犯講習 1月 講師：つくば警察署職員	特になし
41	谷田部東中学校	☐ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☒ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・洞峰学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1950名 ・ショート避難訓練：4月 対象者：全校生徒 教職員 約615名 ・定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 5月 不審者想定 6月 電巻想定 9月 対象者：全校生徒・教職員 約615名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☒ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月 講師：つくば消防署職員 ・火災予防講習 4月 講師：消防署並木分署職員 ・不審者対応講習 6月 講師：つくば警察署職員	防災倉庫点検 4月 2月 洞峰学園防災会議 7月
42	吾妻中学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・洞峰学園合同引渡し訓練：5月26日 対象者：全校児童生徒・教職員・保護者 約1500名 ・学校防災連絡会議 11月 対象者：吾妻学園CS推進委員 約25名 ・定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 9月 不審者想定 11月 対象者：全校児童生徒・教職員 中学校約300名 小学校約800名	☒ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☒ その他(防災手帳を用いた防災授業 講師：吾妻学園おやじの会 児童生徒約220名)	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☐ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月 講師：特定非営利活動法人 いばらき救命教育、いばらきプロジェクト 教員約30名	・防災キャンプ 9月 児童生徒・保護者・地域有識者 約100名 講師：吾妻学園おやじの会 学校を避難場所と想定してキャンプを行う。避難生活の体験と防災学習を行う。 ・炊き出し訓練 1月 児童生徒・保護者・地域有識者 約150名 講師：吾妻学園おやじの会 防災意識向上を目的として餅つきを兼ねた炊き出し訓練を行う。災害時の対応力と地域の防災体制の強化を目的とする。 ・避難経路確認訓練 2月 児童生徒・保護者・地域有識者 約150名 講師：吾妻学園おやじの会 防災意識を高めることを目的として、歩く会を行う。避難経路の確認や地域の危険箇所を確認しつつ、防災意識を高めることを目的とする。
43	基崎中学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ☐ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・基崎学園合同引渡し訓練 5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約280名 ・学校防災連絡会議 10月 対象者：教職員 地域の方々 約50名 ・定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 9月 不審者想定 1月 対象者：全校児童生徒・教職員 約170名	☒ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☒ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☐ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月 講師：未定 オンライン	
44	高崎中学校	☐ 学校防災連絡会議 ☒ 学園合同引渡し訓練 ☐ ショート避難訓練 ☒ 上記以外の定例的な避難訓練	・学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約400名 ・定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定 5月 電巻想定 9月 地震想定11月 不審者想定 12月 対象者：全校児童生徒・教職員 約400名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☐ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☒ その他(避難所で私たちにできること)	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ☒ 救急救命講習 ☒ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月 講師：つくば市南消防署基崎分署 ・防犯講習 12月 講師：つくば警察署生活安全課 講師	なし

No.	学校名	問1 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (引渡し訓練・防災連絡会議・定例的な避難訓練)	問2 問1の取組について、記載例を参考にして実施予定の時期・対象者・参加予定人数を記入してください。	問3 今年度に実施予定の学校防災に係る取組 (つくばスタイル科など授業・学校活動での取組)	問4 今年度に実施予定の学校防災に係る取組(教職員研修・講話など)	問5 問4の取組について、記載例を参考に詳細を記入してください。	問6 PTA・地域の方々を対象とした取組について(合同引渡し訓練・学校防災連絡会議を除く)
45	研究学園中学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・虹色学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童生徒・教職員・保護者 約1470名 ・学校防災連絡会議：11月 対象者：教職員 地域の方々 約30名 ・定例的な避難訓練 地震想定 5月 不審者想定 6月 火災想定 12月 対象者：全校児童生徒・教職員 約770名 ・ショート避難訓練 シェイクアウト訓練 9月 対象者：全校児童生徒・教職員 約770名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☐ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他(避難所運営に関する学習、校外学習での震災学習)	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ☐ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 4月・9月(養護教諭が実施)	
46	春日学園義務教育学校	☐ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・ショートの避難訓練 火災想定 9月 ・引き渡し訓練 5月 約1850名 ・定例的な避難訓練 地震想定 5月 不審者想定 9月 電巻想定 11月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1050名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月 講師：つくば消防署職員 ・防犯講習 8月 講師：つくば警察署職員	
47	秀峰筑波義務教育学校	☐ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・秀峰筑波引渡し訓練：7月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1,600名 ・定例的な避難訓練 地震・火災想定 4月 電巻想定 7月 地震想定 9月 不審者想定 11月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1,000名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☐ つくば市学校防災研修会の参加 ☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月 講師：つくば北消防署職員 ・防犯講習 12月 講師：つくば警察署職員	筑波地区防災イベント
48	学園の森義務教育学校	☐ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ☐ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・定例的な避難訓練 火災想定 4月 地震想定引き渡し訓練 5月 シェイクアウト訓練 9月 不審者想定 11月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1900名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ☐ その他	☐ つくば市学校防災研修会の参加 ☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ☐ 警察署等の防犯講習	救急救命講習 4月 講師：救急救命士	
49	みどりの学園義務教育学校	■ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ■ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・校内避難経路確認：4月 ・みどりの学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約2000名+保護者 約1600名 ・学校防災連絡会議 10月 対象者：教職員 地域の方々 約10名 ・定例的な避難訓練 火災想定 5月 地震想定 9月 不審者想定 11月 対象者：全校児童生徒・教職員 約2000名	■ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ■ つくばスタイル科 防災マップ作成 ■ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他(震災があった能登の高校とオンラインで交流、能登半島の震災復興を聴いている作曲家との交流)	■ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・防災に係る教職員研修：8月 教頭・保健主事による職員研修 主な内容：防災教育の意義・目的、各校の事例検討 ・救急救命講習 8月 講師：いばらきブッシュオンライン研修 ・防犯講習 11月 主な内容：学校防犯対応について、さすまたの効果的な使用方法 講師：つくば警察署職員	
50	みどりの南中学校	☐ 学校防災連絡会議 ■ 学園合同引渡し訓練 ☐ ショート避難訓練 ■ 上記以外の定例的な避難訓練	・取塚学園合同引渡し訓練：5月 対象者：全校児童生徒・教職員 約1000名 ・定例的な避難訓練 火災想定 1月 地震想定 9月 不審者想定 10月 対象者：全校児童生徒・教職員 約150名	☐ つくばスタイル科 防災バッグ作成 ☐ つくばスタイル科 防災マップ作成 ☐ つくばスタイル科 講話等の聴講 ■ その他(学校が避難所になったら、どう使うか)	☐ つくば市学校防災研修会の参加 ☐ 防災に係る教職員研修・講話 (つくば市学校防災研修会を除く) ■ 救急救命講習 ■ 警察署等の防犯講習	・救急救命講習 8月 講師：NPO法人 茨城救命教育・AEDプロジェクト ・防犯講習 10月 講師：つくば警察署職員	